

講義

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0A0A001	自然保護セミナー	1	1.0	1 - 5	春BC秋A秋BC	随時		佐伯 いく代, 庄子 晶子, 杉原 薫, 飯田 義彦	自然保護にかかわる様々なトピックについて、ゲストスピーカーの講演の聴講、グループディスカッション、エクスカージョン、学生による研究紹介などを通じ、理解を深める。	人文社会学系棟B216室などで開講する。要望があれば英語で授業。対面(オンライン併用型)外部講演者
0A0A002	自然保護論	1	1.0	1 - 5	春B	集中		吉田 正人	自然保護の歴史と理念、生物種の保護、生態系の管理、保護地域の設定	人社棟B218(予定)。6/3-6/4 要望があれば英語で授業
0A0A003	地球環境論	1	1.0	1 - 5	秋A	金3,4		角替 敏昭, 八木 勇治, 鎌田 祥仁, 杉原 薫	地球の歴史と環境保全、生命維持の基礎となる地球環境の保全	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
0A0A004	保護地域管理論	1	1.0	1 - 5	夏季休業中 秋A	集中		吉田 正人	保護地域の計画・管理の概念と展開について概説する。特に国立公園・国定公園の管理に関して、筑波山や自然公園における草原環境維持の視点から学ぶ。	非常勤講師:八巻一成。人社棟B218(予定)。9/30, 10/1
0A0A005	景観・緑地保全論	1	1.0	1 - 5	秋ABC	随時		伊藤 弘, 黒田 乃生	自然環境やささらには住環境の基盤である緑地と、それらを視覚的に捉えた結果である景観の保全について、その意味するところと保全に対する考え方や手法を、事例を踏まえて概説する。また、実際に保全活動が行われている現場にてその実態を見学する。	人社棟B216他。対面 外部講演者:高山範理、小林今日子、上野 弥千代(2022年度)。
0A0A006	ジオパーク論	1	1.0	1 - 5	秋B	集中		杉原 薫	ユネスコが支援するジオパークは、地形や地質に関わる自然遺産を中心とした自然公園のひとつである。またジオパークは、それらの自然遺産を保全しながら、観光や教育などの持続的な地域振興につながる様々な活動を推進する仕組みでもある。本科目は、筑波山地域ジオパークを例に、ジオパークの理念や仕組みを学ぶことを目的とする。	人社棟B218他。12/9-12/10 対面 初日は座学、2日目は野外(筑波山地域ジオパーク)巡検。座学は人社棟B218。定員20名。
0A0A007	生物多様性論	1	1.0	1 - 5	秋AB	随時		佐伯 いく代	生物多様性の概念とその保全手法について、理論と実践の双方から理解を深めることを目標とします。具体的には、(1)生物多様性の概念や現状について理解すること、(2)生物多様性の基礎的な調査・解析方法について理解すること、(3)自然と調和した社会を築いていくために必要な事項を学び、自分なりの意見を持つこと、を目標とします。文系、理系問わず、いろいろな専門分野からの学生の履修を歓迎します。	人社棟B216。要望があれば英語で授業。対面 水曜6限ほか
0A0A008	Wildlife Management	1	1.0	1 - 5	秋AB	木1,2		庄子 晶子	Wildlife management encompasses the conservation of threatened species, control of unwanted species, and sustainable harvest of resource species. We shall study principles and techniques of managing wild animals by exploring the ecological processes affecting wildlife and discussing challenges in the human-nature interface.	Classroom: B217. 英語で授業。対面
0A0A009	モニタリング調査技術	1	1.0	1 - 5	春C	集中		吉田 正人, 角谷 拓	生物多様性地理情報とGIS: 生物多様性に関するモニタリング情報をGIS(地理情報システム)を使って表現、分析する手法を学ぶ。	人社棟B218。7/22-7/23
0A0A010	自然保護行政論	1	1.0	1 - 5	秋C	集中		吉田 正人, 飯田 義彦	自然保護行政に係る環境省自然保護局等の関係者による講義	非常勤講師:渡邊綱男。1/27-1/28
0A0A011	自然保護法制度	1	1.0	1 - 5	秋ABC	集中		吉田 正人, 飯田 義彦	環境基本法、生物多様性基本法、自然環境保全法、自然公園法、文化財保護法、種の保存法等の理解	非常勤講師:神山智美。人社棟B218(予定)。
0A0A012	環境影響評価	1	1.0	1 - 5	秋ABC	集中		吉田 正人, 杉原 薫	環境影響評価制度実務者による講義、環境影響評価、戦略的環境影響評価(SEA)、生物多様性オフセット	非常勤講師:傘木宏夫。外部講演者
0A0A013	生態系の保全と復元	1	1.0	1 - 5	秋A	集中		佐伯 いく代	森林、湿地、里山、都市など様々な生態系の保全と復元について、自然を守りながら、持続的に利用していくための理念と実践例について学ぶことを目的とする。授業は、講義、関連文献の精読、ディスカッション、プレゼンテーションなどを主体とする。キーワード:自然保護、生物多様性、生態系サービス、モニタリング、気候変動、人と自然との関係ほか	10/7-10/8 対面
0A0A014	自然保護教育と環境教育	1	1.0	1 - 5	秋AB	集中		庄子 晶子, 杉原 薫	自然保護分野における教育活動の意義と展望、具体的手法などについて、座学と野外実習により学ぶ。キーワード:環境教育、自然保護教育、ネイチャーフィッシング、市民参加型モニタリング	総研棟A107。非常勤講師:鳥山由子、植田睦之。本科目は対面での実施を予定しているが、オンラインでの実施となる可能性もある。11/2, 12/7

OA0A015	サイエンティフィック・ジャーナリズム	1	1.0	1 - 5	春B 秋B	随時		庄子 晶子	プロフェッショナル・サイエンスタイターの直接の指導を受けながら、自然保護に関わる実務者・研究者への取材等を通して、文章構成力などを習得することを目的とする。取材先の選定から文章執筆に至るまでプロによる直接指導を受ける。	定員5名。 6/23, 12/8 外部講演者：岡田小枝子、小島あゆみ、尾嶋好美
OA0A016	科学と社会のコミュニケーション	1	1.0	1 - 5	秋B	集中		庄子 晶子, 飯田 義彦, 吉田 正人	生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された「昆明—モントリオール生物多様性枠組」や保護地域や保護地域以外の効果的な保全制度(OECM)に関わる最前線について、専門家の方々のお話を伺うことにより、生物多様性の世界目標をめぐる動向を知ると同時に、それを地域において実現するにはどうしたらよいかを考える。	12/2-12/3 対面 ポスター発表必須
OA0A017	モニタリング調査技術2	1	1.0	1 - 5	秋C	集中		角谷 拓	モニタリングの意義、モニタリング調査の立案と実行、フィールド調査技術、データ解析。環境や生態系などの実態を把握する上で、モニタリングをいかに進めていくかが重要となる。本講義では、モニタリング調査の具体的な事例を挙げると共に、計画の立案からデータ解析に至るまでの流れを内容に盛り込む。	人社棟B216。 要望があれば英語で授業
0ANB712	遺伝子多様性学特論	1	2.0	1	秋AB	金1,2	生農 G501	渡邊 和男, 小口 太一	生物多様性の基盤となる遺伝的変異について、植物を主体例として、生物学的な観点から論じる。遺伝子多様性に関わる保全、産業利用や知的所有権について社会、経済、法律及び国際関係の観点を含め序説的に講述し、一般的理解を提供する。生物多様性と遺伝的多様性の概論、21世紀の戦略的な国家資源としての遺伝資源の学際的論議、遺伝子多様性の生物学、遺伝的多様性の測定について遺伝学的理論及び分子生物学を主体とした測定技術の紹介、生物多様性の保全について学際的アプローチによる生息域内保全及び生息域外保全、ジーンバンク、バイオリソースセンターと植物園などの関係の紹介、保全の技術の解説及び遺伝的多様性の産業利用と国際的関心事項の総合討論を行い、基礎的理解を得る。	科目等履修生の海外からのオンライン受講は不可。
0ANE322	植生学	1	1.0	1・2	秋B	火1,2		上條 隆志, 清野 達之, 川田 清和	植生は陸域景観の主要な構成要素である。この講義では、植生学、世界の植生、植物群集の分布に関する気候のおよび土地的要因、植生の動態、および植生に対する人間の影響について後述する。特に、熱帯雨林、日本の森林、砂漠、草原に着目する。また、植生調査の現場実習も行う。	理科系B107 02JZ010と同一。 対面
0ANE323	Vegetation Science	1	1.0	1・2	秋A	火1,2		上條 隆志, 清野 達之, 川田 清和	Vegetation is a major component of our landscape. In this course, students learn concepts of vegetation science, world vegetation, climatic and edaphical factors on distribution of plant communities, vegetation dynamics and human impacts on vegetation. Tropical rainforests, Japanese forests, deserts and grasslands are focused in this course. Students also learn field practices of vegetation survey.	理科系B107 02JZ010と同一。 対面(オンライン併用型)
0ATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春A	木1,2	人社 B218	吉田 正人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性についても考究する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセーフティネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。	01AH410と同一。
0ATV202	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産条約)	1	1.0	1・2	秋A	集中		上北 恭史, 飯田 義彦, 池田 真利子	As the most influential instrument in the international heritage field, the UNESCO World Heritage Convention has been providing an important instructive framework to the member countries, from actual protection and conservation of individual heritage sites to the development of national heritage policies and administrations of countries. Encompassing history, philosophy and operational schemes, the lecture provides an overall picture of the international discussions developed in and around the World Heritage Convention.	非常勤講師：稲葉信子 10/13, 10/14
0ATV203	World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)	1	1.0	1・2	春BC	集中		飯田 義彦, 吉田 正人, 池田 真利子	世界文化遺産・世界自然遺産に関わる国際協力の事例をもとに、文化遺産・自然遺産の保全に関わる国際的枠組みの成果と課題を学ぶ。合わせて、日本の国際協力に関する枠組みについても取り上げる。	非常勤講師：長岡正哲(ユネスコ) 外部講師：長谷川基裕(JICA) 英語で授業。 6/30, 7/11, 7/18

OATV204	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	1	1.0	1・2	秋AB	火5	池田 真利子	本講義では、1現在の世界遺産が直面する課題を的確に知り、2その背景にある地域の実情を多角的かつ分野横断的にみること、さらに3世界遺産の維持のために必要不可欠とされている市民参加の在り方を、世界遺産に限定せず、広くヨーロッパの遺産保存の在り方から探ること、4世界遺産の多様化、5EUにおける最新の文化遺産を巡る動向を理解することを通じて、世界遺産における市民参加がどのようにして実現され得るのかを考えることを目標とする。	対面。オンライン(同時双方向型)
OATV205	World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	1	1.0	1・2	秋C	集中	飯田 義彦	持続可能性概念について様々な保全制度と地域実践事例から学ぶ。自然と文化の遺産管理において、持続可能性概念や国連の持続可能な開発目標(SDGs)をいかに結びつけて社会実装を進めるか。その上で、持続可能な社会づくりに向けたグローバルとローカルの協働のあり方と将来方策についての自身の考えを深める。	英語で授業。
OATV206	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)	1	1.0	1・2	秋C	集中	池田 真利子, 吉田 正人, 飯田 義彦	Students of Master and Doctoral degree programs will learn, how heritage and identity-related in the modern "global world", by knowing the recent national, regional, and local context, not only in Western European countries (such as Germany or Italy) but also in Eastern European countries (such as in former Eastern Germany) as well as in the global South (such as India). In the field of heritage preservation, practices rooted in civic engagement had much dedicated due to specific regional and political contexts, especially since the 1980s. Although, pragmatic academic discourses tend to ignore the national or regional context and conflicts emerged along with "Heritization(遺産化, isan-ka)" or "Institutionalisation(組織化, soshiki-ka)". This lecture will be assisted by Prof. Dr. Leo Schmidt, who has over thirty years developed the discipline of heritage studies base on practical, theoretical as well as academic views, to extend the further academic discussions online.	▼1/18 (水) 15:00-17:00 Prof. Dr. Leo Schmidt "The Berlin Wall (Die Mauer)" Today: Significance and Management ▼1/25 (水) 15:00-17:00 Prof. Dr. Alexandra Skedzuhn "Museum Island (Museumsinsel)" of Berlin ▼2/1 (水) 15:00-17:00 Prof. Dr. Leo Schmidt "Berlin Place (Berliner Schloss)" ▼2/6 (月) 15:00-17:00 Jens Casper Depl. - Ing. Architekt "Counterpreservation and Boros Sammlung: Knowledge and Practice" ▼2/13 (月) 15:00-17:00 Prof. Dr. Alexandra Skedzuhn-Safir and Nicole Franceschini "Marginalisation and Heritages, Tatoo Taboo" (Marginalisation, Heritage, Mapping, Spatial History /UK) 英語で授業。 対面。オンライン(同時双方向型)
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)	1	1.0	1・2	春B	集中	吉田 正人, 飯田 義彦, 池田 真利子	この授業では、地球環境の保全、遺産の保護と開発に関する国際条約と、世界中の様々な国々の事例研究を通じて、急速に変化する社会において、どのように遺産と共存し、環境を保全するとともに、持続的な社会を実現するかを学ぶ。	非常勤講師：堀江正彦、外部講師：鈴木渉 英語で授業。 6/9, 6/10, 6/11 6月9日：堀江先生 B218 (対面授業) 6月10日・11日：鈴木先生 (オンライン)
OATV406	インタープリテーション概論	1	1.0	1・2	春季休業中	集中	吉田 正人	インタープリテーションおよびエコツーリズムの歴史・期待される効果・実施上の注意点や課題について理論的な概要を学習する。自然遺産および文化遺産の価値を利用者にどのように伝えるのか、その技術や伝えるべき対象の価値の捉え方について、実際の事例を体験することを通して考察する。教育目標は自然遺産・文化遺産の価値をとらえ、それを伝える技術を理解し、遺産の利活用と保全におけるインタープリター(エコツアーガイド)の果たす役割を理解することである。授業目標の到達目標は、インタープリテーション・プログラムを提案できるような能力を身につけることであり、その習得度はプレゼンテーションやレポート課題によって確認する。	非常勤講師：古瀬浩史 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
0A0A101	海域フィールド実習	3	2.0	1 - 5	夏季休業中	集中		和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	下田臨海実験センターにおける海洋自然体験活動実習。普段の生活の中では、海はその表面しか見ることができない。しかし、海の自然を知り保護していく上で、海の中の生物や環境を詳しく知ることが不可欠である。本実習では、実際に受講生が海の自然を体験し、その中でどのような生物・環境が生態系を構築しているのかを洞察することを目標とする。自然を保護するためには、実際にどのような環境や生物が自然の生態系を形作っているかを知らなければいけない。本実習では、下田臨海実験センターで実際にフィールド調査を実施し、海の生物や環境の複雑性を体験し、海の自然保護の理解を深めることを目的とする。	下田臨海実験センター。 9/25-9/29 要望があれば英語で授業 本実習は対面で実施する。定員5-14名
0A0A102	陸域フィールド実習1	3	1.0	1 - 5	春0夏季休業中	集中		上條 隆志, 佐伯 いく代	自然保護、特に陸域の生物多様性保全・希少野生生物の保全について学ぶ。実習地はハケ岳周辺とする。	ハケ岳実習(3泊4日を予定)は夏季集中として実施する。また、事前学習と事後学習を行う。日程の詳細については、自然保護寄付講座のウェブサイトと掲示により行う。宿泊、移動の関係から人数制限を行う場合がある。英語でも対応する。定員7名程度(応相談)
0A0A103	陸域フィールド実習2	3	1.0	1 - 5	秋AB	集中		佐伯 いく代	本実習は、(1)大学近郊の里山を訪ね、身近な自然のもつ特徴を理解する、(2)里山の保全活動がされているNPOの方にお話をうかがい、成果や課題などについて学ぶ、(3)動物センサーカメラを設置し、自ら野生生物のデータを取得・解析して、管理者の方に管理手法の提案をする(グループワーク)、ということを目指します。	自然保護寄付講座サーティフィケートプログラムの履修生のみ受講可能。自然保護寄付講座の履修については、4月上旬に実施される学内での説明会に参加し情報を得ること。 10/16, 11/13, 12/11 要望があれば英語で授業。対面 定員20名程度(応相談)
0A0A104	保護地域管理実習	2	1.0	1 - 5	秋A	集中		杉原 薫, 庄子 晶子	西表石垣国立公園内の保護地域を訪れ、サンゴ礁をはじめとした保護地域管理の実態を体験する。保護地域管理の現場より、実践的な管理理念や手法を体験する。	石垣島 11/7-11/10 現地実習は日本語。要望があれば、資料の英語化などの簡易な英語サポート有。定員10名。
0A0A105	野生生物管理実習	2	2.0	1 - 5	夏季休業中	集中		庄子 晶子	伊豆利島において海鳥の生態調査技術や人為的影響の評価技術を習得する実習を実施する。海洋生態系の高次捕食者である海鳥類は環境影響評価をする上で重要な指標となっており、海の生き物の生態や生息環境を詳しく知ることは自然保護を進めていく上で不可欠である。本実習では、野生生物管理に関わる問題や調査技術についてグループディスカッションを行い、生態調査技術の習得と海洋生態系保護の現状と課題を理解することを目標とする。	自然保護寄付講座履修生のみ受講可能。現地実習の他に、事前学習と事後課題を行う。海鳥の調査地内に入ることから定員5名とする。今年度は伊豆利島で実習を実施するが、来年度以降は実習開催地を変更する可能性がある。Wildlife Managementの履修を推奨。非常勤講師：白井正樹 9/4-9/8
0A0A106	自然保護学特別実習	3	1.0	1 - 5	秋0春季休業中	集中		上條 隆志, 佐伯 いく代	自然保護学の実践の場において、その自然環境、自然保護の取り組み、問題点について実習形式で学ぶ。具体的には、伊豆大島を対象として、火山地質、植生、希少野生生物、外来種問題、植物の盗掘問題などの現状を実際のフィールドを歩くとともに現地の自然保護活動家との議論から学ぶ。国立公園、ジオパーク、自然愛好会などの活動をしている人との議論を通じて、自然保護の課題と今後の在り方について理解を深める。	集中形式で実施する。秋Cに事前学習を行い、大島現地実習(2泊3日を予定)は春季休業集中を予定、のちに事後学習を行う。日程の詳細については、自然保護寄付講座のウェブサイトと掲示により行う。宿泊、移動の関係から人数制限を行う場合がある。英語でも対応する。今年度は伊豆大島をフィールドとするが、来年度以降のフィールドは変更される場合がある。要望があれば英語で授業 定員7名程度(応相談)

0A0A201	短期インターンシップ	3	1.0	1 - 5	通年	随時		佐伯 いく代, 飯田 義彦	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における短期間(のべ10日以上20日未満)のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サートィフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。当プログラムについては、4月に開催される学生向け説明会に参加して情報を得ること。 対面
0A0A202	中期インターンシップ	1	2.0	1 - 5	通年	随時		佐伯 いく代, 飯田 義彦	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における、のべ20日以上40日未満のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サートィフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。当プログラムについては、4月に開催される学生向け説明会に参加して情報を得ること。 対面
0A0A203	長期インターンシップ	3	3.0	1 - 5	通年	随時		佐伯 いく代, 飯田 義彦	国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における長期間(のべ40日以上)のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。	自然保護寄附講座サートィフィケートプログラムを受講している大学院生のみ履修可能。当プログラムについては、4月に開催される学生向け説明会に参加して情報を得ること。 対面
0A0A204	海外インターンシップ	3	5.0	1 - 5	通年	随時		吉田 正人, 飯田 義彦	自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することのできる学生を育てることがあります。国際自然保護連合(IUCN)や国連教育科学文化機関(UNESCO)、生物多様性条約事務局等の海外に事務所をおく国際機関において、一定期間以上、海外に渡航して、インターンシップを行う海外インターンシップに対して、インターンシップ報告書、受け入れ団体の評価に基づいて、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「インターンシップ制度について」の通りですが、IUCN インターン	英語で授業。
0A0A205	海外自然保護特別研究	6	3.0	1 - 5	通年	随時		吉田 正人, 和田 茂樹, 庄子 晶子	自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することのできる学生を育てることがあります。筑波大学と国際交流協定を結んだ大学において、自然保護に関する研究を目的に留学する学生に対して、留学中の授業のみならず、現地の自然保護に関する事例研究を行い報告書を提出することを条件に、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「海外留学について」の通りですが、オーストラリアのタスマニア大学の場合、毎年2月末から6月はじめにかけて、自然保護地域の管理に関する授業がありま	英語で授業。 タスマニア大学、ディーンキン大学など連携大学での研究活動等
0ATV104	自然遺産演習	2	2.0	1・2	夏季休業中	集中		吉田 正人	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。自然遺産地域の管理計画、科学委員会・地域連絡会議を通じた専門家、地方自治体、地域住民、NPOなどの役割分担と協働、外来種対策やエコツーリズムなどの事例を現地調査から学ぶ。	
0ATV208	Project Practice in World Heritage (世界遺産演習)	2	2.0	1・2	春C	集中		飯田 義彦, 吉田 正人	国内外におけるフィールド実習を通じて、遺産保護と持続可能な開発のバランスを取るための方策について、現地の関係者の取組や国際的な視点の双方から学ぶ。	現地実習(石川県白山市) 英語で授業。 8/1-8/7